

『SABOカード』を製作しました

立山の砂防が国営(国直轄)事業になって90年を迎えるにあたり、砂防のことをより広く、より深く知っていただき、土砂災害の防止と砂防事業に対する理解を深めていただくことを目的として、立山砂防を代表する砂防施設等を紹介した「SABOカード」を製作しました。

カードは以下の4種類です。

- ・ 白岩砂防堰堤 (昭和14年完成 重要文化財; 平成21年)
- ・ 本宮砂防堰堤 (昭和12年完成 登録有形文化財; 平成11年)
- ・ 泥谷砂防堰堤群 (昭和13年完成 登録有形文化財; 平成14年)
- ・ 立山砂防工事専用軌道 (昭和40年全線運行開始 登録記念物; 平成18年)

このカードは、立山カルデラ砂防体験学習会のトロッココース(個人・団体)に参加され、実際に立山カルデラ内の砂防施設を視察された方を対象に4枚を1セットとして、お一人様1セットを無料で配付します。

体験学習会については、

チラシ及び富山県立山カルデラ砂防博物館ホームページで募集しています

→ <http://www.tatecal.or.jp/tatecal/index.html>


お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 立山砂防事務所
副所長(技術) 浅井 誠二
調査課長 石井 崇
電話 076-482-1111 (代表)
FAX 076-482-1101

立山砂防事務所

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂61番地

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tateyama/index.html>

QRコードはこちら 



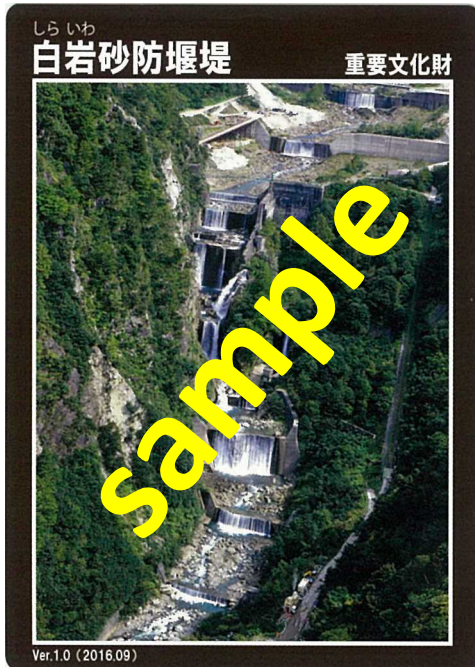
国土交通省北陸地方整備局

参考資料

SABOカードについて

立山砂防の代表的な砂防施設を紹介しています。

カードの体裁は「ダムカード」の形式に準じて、おもて面は砂防施設の写真、うら面は砂防施設の形式、諸元や建設したときの技術といった基本的な情報からちょっとマニアックな情報までを凝縮して載せています。



SABO-DATA

所在地：(左岸) 富山県富山市
(右岸) 富山県中新川郡立山町

河川名：常願寺川水系湯川

形式：重力式粗石コンクリート堰堤+アースフィル


堤頂長：76.0m

堤高：(本堰堤) 越流部20.0m、非越流部63.0m
(総落差) 108m (第1～7基、副堰堤含む)

貯砂量：100万m³

管理者：国土交通省

着工/完成：昭和4年(1929) / 昭和14年(1939)



基本情報

立山カルデラの出口に位置する約2km²の不安定土砂を押さえ込む常願寺川で最も重要な砂防堰堤です。本堰堤高63m、7基の副堰堤を含めた総落差108mは、いずれも日本一を誇ります。平成21年(2009)6月に砂防施設としては初めて重要文化財に指定されました。

こだわり技術

本堰堤の非越流部は、経済性を考慮して貯水ダムと同様の手法で設計されています。左岸部は軟弱な火山噴火物からなり、上流側を護岸構造、下流側を盛土と方格枠から構成されるフィルダム構造となっています。砂防堰堤としての機能を確保するため、右岸部は岩盤内部に掘ったトンネルから設置したアンカーで地表岩盤を抑え、左岸部は盛土内部に設置した排水ボーリング等で地下水を排除するといった保全対策が実施されています。

※背景色について

背景色の茶色は、木や土、大地といった自然を感じさせる色であり、また、伝統や歴史を感じさせる色とされています。

砂防事業は、先人の知恵と努力により営々と人々の生活を守り続けてきた伝統・歴史を継承するとともに、自然と共生・融合した事業を目指しており、茶色はそのイメージを表しています。